

### ◆空港圏の意義

**問** 2本の滑走路の直下にあるにもかかわらず空港圏の意識が薄いのではないかと

**答** 騒音測定箇所を増やし、航空機騒音障害防止対策事業補助金の見直し等を行っています。また、町単独事業として航空機騒音対策空調機設置事業について、平成16年度から3年間で町全域を対象に事業を進めています。今後も2本の滑走路の直下としての横芝町の位置付けを、空港会社等に対してさらなる働きかけをしてまいります。

### 小川征四郎 議員

#### ◆国保・介護保険

**問** 合併後の新町における国保税率・介護保険料について

**答** 税率の決定は、平成16年度の両町国保会計決算を踏まえ、平成20年度までの医療給付費と税収見込み等を推計し決定しました。当初、光町は不均一課税での対応を望んでいましたが、平成18年度と平成19年度に限り一般会計から繰り入れし、均一課税とすることにしました。

### ◆入札制度

**問** 適切な競争原理が働く入札制度の改善を

**答** 試行的に予定価格の事前公表制度を導入し、実施しています。なお、現在の厳しい財政状況の中、効率的な行財政運営を図る必要があるため、入札方法についても、今後さらに検討すべき課題であると考えています。

### ◆山武地域医療センター構想

**問** ①事業主体について

②センター構想と東陽病院の関係はどうなるか

**答** ①地域医療は地域で担う視点から、横芝町も東陽病院を支援病院として位置づけることを条件として、医療センター構想に参画することとしています。

また、組織の効率化、他事業との連携等を考慮し、山武郡市9市町村で構成している行政組合が事業主体となることと合意されています。

②現在のセンター構想は、山武郡内の公立3病院の再編を目的とし、基本計画の策定に取り組んでいます。事業主体決定において東陽病院を支援

病院に位置づけることが確認されましたので、基本計画策定後の来年度以降、医療センター全体の医療機能を見直す中で、関係市町村や医療関係者と協議する予定です。

### 川島富士子 議員

#### ◆教育行政

**問** ①子ども議会の継続的な開催について

②奨学金制度の創設について

③学力向上事業の推進として電子黒板を導入しては

**答** ①各学校では教育目標を設定し、年間計画を立て授業を行っているのですが、学校側から子ども議会の継続開催について希望があれば、開催したいと考えています。

②合併後の新町横芝光町において、制度を創設し、支給することになっています。

内容は、入学支度金として、高等学校と専門学校が3万円、そのほか毎月1万円を教育費の一部として支給するものです。

③現在の電子黒板は、高額であることやソフトウェアが開発途上であることなどから、

導入には時期尚早と思えます。今後、開発がさらに進み、ハードウェア、ソフトウェアともに充実した段階で導入できれば、より良い授業展開ができると考えています。

### ◆優しい行政の取り組み

**問** まちづくりふれあい講座(出前講座)の実施について

**答** 町の行政運営を順調に進めるためには、住民の理解と協力が不可欠であり、そのためには、制度や事業等の内容をよく理解していただく必要があり、希望により、

できる限り対応してまいります。

### ◆行政改革への取り組み

**問** ①第2次大綱に基づく具体的推進項目と実施計画の進捗状況について

②三位一体の改革と本町のかかりについて

③本町における「事業仕分け」総点検について

**答** ①行政改革を進めるため6つ大きな具体的推進項目を設けており、一、事務事業の見直し。二、組織・機構の再編。三、定員管理及び給与の適正化。四、効果的研修による能

力開発の推進。五、行政の情報化と行政サービスの推進。六、経費の削減・合理化による財政健全化の推進となっております。取り組み期間は、平成16年度～18年度までの3年間となっておりますが、組織機構の再編や定員管理、人件費の削減等を中心に改革が進みました。合併協議との兼ね合いから実施が遅れたり、新町での対応となった項目などもあります。

②これまでの地方交付税等の推移から、本町への影響はかなり厳しいものになると推測されます。新町においてもさらなる行財政改革に取り組み、財政基盤の安定を図り、もって地方自治の確立を推進すべきと考えます。

③現在、合併に向け新町の予算編成作業を行っています。町税収入の伸び悩みや地方交付税の削減等から歳入不足は否めない状況です。今後は、民間団体や有識者の意見なども伺いながら、事業の選択による予算編成方法の検討を行い、財政の健全化に努めてまいります。